

千葉県感染症発生動向調査情報

2015年 第34週 (8/17-8/23) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

| 報告のあった定点数 | | 34週 | 33週 | 32週 | 31週 |
|---|----------|-----|-----|-----|-----|
| 上段:患者数 下段:定点当たりの患者数 「定点当たりの患者数」とは 報告患者数/報告定点数。 | 小児科 | 18 | 17 | 18 | 18 |
| | 眼科 | 5 | 5 | 4 | 5 |
| | インフルエンザ* | 28 | 24 | 28 | 28 |
| | 基幹定点 | 1 | 1 | 1 | 1 |

| 定点 | 感染症名 | 注意報 | 千葉県 | | | | 千葉県 8/10-8/16 33週 |
|---------|---------------------------|-----------|-------------|-------------|--------------|--------------|-------------------------|
| | | | 8/17-8/23 | 8/10-8/16 | 8/3-8/9 | 7/27-8/2 | |
| | | | 34週 | 33週 | 32週 | 31週 | |
| 小児科 | RSウイルス感染症 | | 1 0.06 | 0 0.00 | 3 0.17 | 2 0.11 | 11 0.09 |
| | 咽頭結膜熱 | | 8 0.44 | 3 0.18 | 2 0.11 | 6 0.33 | 47 0.37 |
| | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | | 14 0.78 | 26 1.53 | 32 1.78 | 49 2.72 | 140 1.10 |
| | 感染性胃腸炎 | | 62 3.44 | 52 3.06 | 49 2.72 | 67 3.72 | 251 1.98 |
| | 水痘 | | 6 0.33 | 2 0.12 | 4 0.22 | 2 0.11 | 18 0.14 |
| | 手足口病 | ↓★★★ | 142 7.89 | 140 8.24 | 204 11.33 | 246 13.67 | 643 5.06 |
| | 伝染性紅斑 | ○ | 18 1.00 | 14 0.82 | 15 0.83 | 28 1.56 | 58 0.46 |
| | 突発性発しん | | 15 0.83 | 19 1.12 | 15 0.83 | 16 0.89 | 57 0.45 |
| | 百日咳 | ○ | 3 0.17 | 1 0.06 | 0 0.00 | 3 0.17 | 7 0.06 |
| | ヘルパンギーナ | | 37 2.06 | 45 2.65 | 63 3.50 | 104 5.78 | 215 1.69 |
| 流行性耳下腺炎 | | 8 0.44 | 10 0.59 | 8 0.44 | 8 0.44 | 73 0.57 | |
| インフル | インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く) | | 0 0.00 | 1 0.04 | 1 0.04 | 1 0.04 | 5 0.03 |
| 眼科 | 急性出血性結膜炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 流行性角結膜炎 | | 2 0.40 | 0 0.00 | 3 0.75 | 1 0.20 | 18 0.56 |
| 基幹定点 | 細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 無菌性髄膜炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | マイコプラズマ肺炎 | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 1 0.11 |
| | クラミジア肺炎 (オウム病を除く) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |
| | 感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る) | | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 | 0 0.00 |

★★★:流行中 ★:やや流行中 ○:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(4件)

| 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 | 病名 | 性 | 年齢層 | 診断(検査)方法 |
|----|----|------|----------|--------|----|-------|-------------|
| 結核 | 男性 | 60歳代 | 画像診断 | 急性脳炎 | 男性 | 10歳未満 | 高熱及び中枢神経症状等 |
| 結核 | 女性 | 80歳代 | 画像診断等 | ジアルジア症 | 男性 | 60歳代 | 病原体の検出 |

・結核2件(148)、急性脳炎1件(9)、ジアルジア症1件(1)の報告があった。

※ ()内は2015年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第34週のコメント

<手足口病> 前週より減少し7.89となった。流行発生警報開始基準値は上回ったまま。

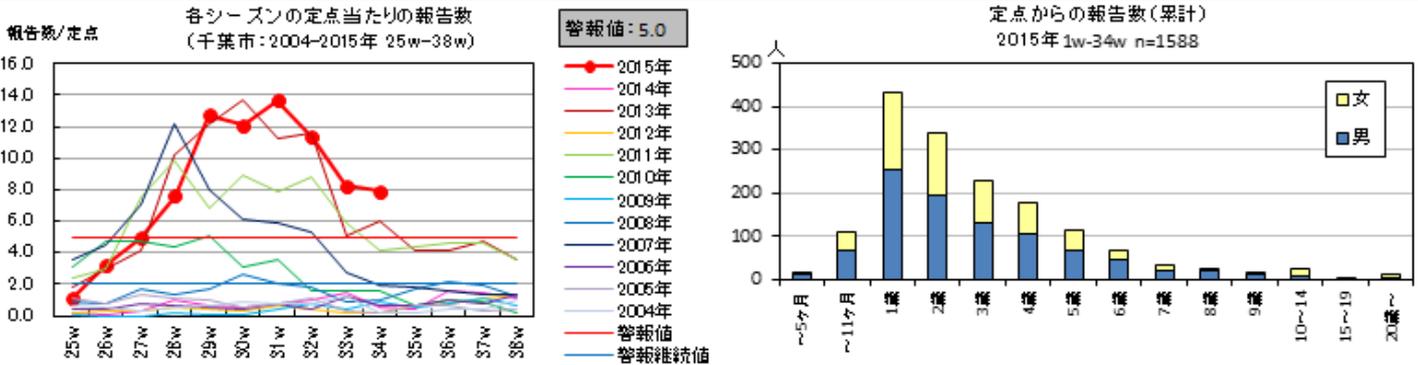
<伝染性紅斑> 前週より増加し1.00となった。過去10年の同時期と比べると最多。

<百日咳> 前週より増加し0.17となった。過去10年の同時期と比べると最多。

■ トピック ■

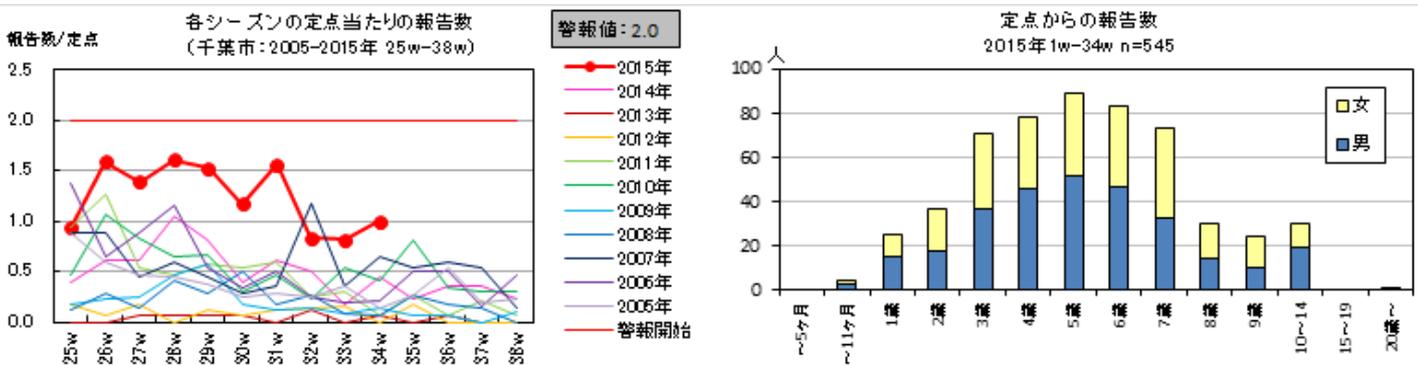
<手足口病>

全国レベルの第33週現在は、前週より大幅に減少しましたが過去8年の同時期と比べると最多となっています。都道府県別では、山形県、新潟県、長野県の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルよりやや少なくなっています。千葉市の2015年第34週は前週から減少し7.89となりました。過去10年の同時期と比べると最多で、流行発生警報開始基準値(5.0/定点)は上回ったままです。区別の発生状況は、花見川区以外の前区で流行発生警報開始基準値を上回っており、稲毛区(18.0/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。花見川区は流行発生警報終息基準値を下回りました。2015年第1週から第34週までの累積報告数(n=1588)によると、性別では男性が58.2%(925名)、女性が41.8%(663名)で、年齢階級別では1歳(27.3%:434名)、2歳(21.3%:339名)、3歳(14.2%:226名)の順に多くなっています。



<伝染性紅斑>

全国レベルの第33週現在は前週より大幅に減少しましたが、過去8年の同時期と比べ最多のままとなっています。都道府県別では、大分県、鹿児島県、大阪府の順に多く報告されています。千葉県は全国レベルと比べると多めとなっています。千葉市の2015年第34週は前週より増加し1.00となりました。過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、稲毛区(4.33/定点)で流行発生警報開始基準値(2.0/定点)を上回ったまま最多で、同区の3歳で最も多く発生報告がありました。2015年第1週から第34週までの累積報告数(n=545)によると、性別では男性が53.9%(294名)、女性が46.1%(251名)で、年齢階級別では5歳(16.3%:89名)、6歳(15.2%:83名)、4歳(14.3%:78名)の順に多くなっています。



<百日咳>

全国レベルの第33週現在は、過去8年の同時期と比べると少なくなっています。都道府県別では、沖縄県、香川県、千葉県の順に多く報告されています。千葉市の2015年第34週は前週より更に増加し0.17となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、中央区(1.0/定点)のみで報告があり、流行発生警報開始基準値(1.0/定点)に達しています。同区の5歳、7歳、成人で発生報告がありました。2015年第1週から第34週までの累積報告数(n=24)によると、性別では男性が33.3%(8名)、女性が66.7%(16名)で、年齢階級別では10歳代前半(29.2%:7名)、9歳(25.0%:6名)、20歳以上(16.7%:4名)の順に多くなっています。

